

生活困難者支援委員会通信～vol. 3

発行：北海道社会福祉士会生活困難者支援委員会

北海道社会福祉士会生活困難者支援委員会（以下、委員会）から、3回目の通信をお届けします。

前号に続き、各地区支部での「何でも相談会」の取り組みを報告させていただきます。

今号では、前号で開催の報告をさせていただいた、道央地区支部の取り組みをまずは紹介させていただきます。

「福祉なんでも相談会」も2年目を経過し様々な課題が見えてきたようです。

開催を定例化し、相談会を展開している地区支部、また開催そのものに試行錯誤を重ねている支部等々。開催には支部の現状が反映されていると思います。これらを良い悪いの問題ではなく、地区支部にあった展開が出来るよう道内各地の取り組みを参考に、各地区支部での取り組みを支部をあげて検討していただければ幸いです。

様々なニーズに応えるために ～道央地区支部「なんでも相談会」報告

昨年、12月5日に第2回「なんでも相談会」を実施しました。

2014年度の第1回「なんでも相談会」は、来所相談者3組4名、ケアカフェ等参加者からの相談が6組6名の計10名の相談がありましたが、2015年度は来所相談者2組2名という結果でした。

この結果から、終了後すぐに反省及び意見交換会を実施しました。

- ① 準備期間はあったはずなのに広報や打ち合わせ等の準備が足りなかった。
- ② 「なんでも相談会」のコンセプトをより明確化する必要があるのではないか。
- ③ 2014年度は、ソーシャルワーカーディをめがけ全道一斉に動いたが、2015年度は各地区支部で開催することとなり、道央地区支部としての目標設定や目的意識など薄く、取り組みについての意思疎通も十分図りきれないままの実践に陥ってしまったのではないかと。道央地区支部全体で取り組む、連携・協働等意思疎通が重要になる等、多岐に渡る意見交換ができ、今年2016年度の取組については準備期間をしっかりと取り活動を進めていくと、意見が一致しました。

相談については、医療相談と精神疾患の方の2組の相談がありました。

2組のうち、1件は医療相談で、俗にいうたらいまわし状態になり、病院や医師への信頼を失い、受診することを諦めたとのこと。しかし、身体の不調についてどうにかして改善したいとの意思表示もありました。医師からずっと「様子を見ましょう」と言われ続けていたことへの不満等を傾聴し、診察場面を相談者と共に想定し話し合いました。その後、今後のフォローとして一緒に受診する等支援の継続等についても提示しましたが、「解決にはならないが話を聞いていただけて良かった」との声が聴かれましたが、その後の支援継続は希望されず、終了しました。（相談対応者：現医療機関勤務の社会福祉士）

ケースを振り返り、この相談者の方は満足し帰宅の途に就いたのかと心配が残りました。この「なんでも相談会」の中で解決を図ることは困難ですが、システム理論を実践、応用できる仕組みが必要ではないか。また、信頼関係の構築の難しさを改めて実感する機会になりました。

今年度は、過去の経験を踏まえ、様々な関係機関、専門職者との協力の上、実りある「なんでも相談会」が開催できるよう、道央地区支部一丸となり取り組みたいと考えております。

道央地区支部のみなさん、一緒に活動しませんか？よろしくお願いいたします。

(報告者：生活困難者支援委員会 委員(道央) 目黒 紀美代)



道北地区支部「年末！困りごとなんでも相談会」報告

昨年12月26日(土)13:30～旭川市中央公民館にて、「年末！困りごとなんでも大相談会」を開催いたしました。今回は、毎月行っている「相談会&学習会」のスタイルはとらず多職種による相談会のみとし、今年度共催いただいているMSW協会北支部に加えて、あさひかわSOSネット、CANnet、旭川生活と健康を守る会に多大なるご協力をいただきました。弁護士、医師、行政書士、社会保険労務士など専門職相談員が13名集まり、原則2名1組の相談体制で、10件の相談に対応しました(うち電話相談1件)。ここでは紙幅の都合上、6件の相談内容と対応結果の概要を報告いたします。

①70代女性Aさん→弁護士

息子名義の請求書が届く。息子は関東在住で同居していない。東京の業者からで、インターネット使用料や会費。架空請求だろうか？

【対応】架空請求の可能性大。業者には連絡せず、基本は放置。息子宛郵便物の受取拒否を勧める。

②30代男性Bさん→社会福祉士

彼女がほしい。結婚願望強い。女性と何を話したらいいのかわからない。軽度の知的障がいと精神疾患あり。婚活パーティに行ったが相手に不信感を与えたようだ。健常者とつきあいたい。

【対応】次回以降の学習会にできれば参加していただくようお願いする。

③70代男性Cさん

21才の時統合失調症の診断。物事を集中して考えられず、不安がある。障害年金受給中で、病院にも通院している。同居の母が入院中。

【対応】・傾聴。不安が強くなり、眠れないなどの兆候あれば病院受診するよう勧める。

④50代女性Dさん→社労士

数年前から営業の仕事をしており、時間外勤務しているが、1500円の手当支給のみ。賃金請求は成り立つか？成り立つのであれば何年遡って請求可能か？

【対応】2年後の退職時に請求するか、職場の仲間を集めて在籍中に請求するか、検討していただく。

⑤30代女性Eさん→社会福祉士

障害厚生年金受給中。夫の手伝いで所得が月1～2万円程度あるが年金が止められることはあるか？

【対応】所得制限はない、と回答(20歳前障害の場合と特別障害給付金の対象者に制限あり)

⑥60代女性Gさん→医師、病院職員

マンション内で執拗な嫌がらせを受けている。家の中に何度も入られ、鍵を変えても合鍵を作られ、すぐに入られる。警察・弁護士はとりあってくれない。マンションの総会で意見したことが発端だと思う。独居で年金生活。

【対応】傾聴。次回なんでも相談会&学習会にも来ていただくようお願いする。

今回は生活保護の申請同行が必要な相談はありませんでしたが、「なんでも」の看板通り、様々な相談が寄せられました。すぐに解決はできなくても、地域の困りごとに丹念に耳を傾けるこの活動を、来年度も続けてまいります。

(文責：委員(道北) 平田 淳)